

低炭素地域づくり面的対策推進事業(北海道恵庭市)

人口6.8万人

北海道恵庭市では、公共交通優先型社会の形成、廃食油循環モデルの構築を2つの基軸として、主に交通分野から発生するCO2排出量を軽減する取り組みを展開し、低炭素地域づくりを推進する地域計画を策定する。

実施主体: 恵庭市地球温暖化対策協議会

(恵庭市・恵庭市町内会連合会・恵庭市地域女性連絡会・恵庭市商工会議所・恵庭工業クラブ・交通事業者)

公共交通優先型社会の形成

①公共交通の再編調査

- ・バスOD 調査の実施
- ・市民アンケート調査の実施
- ・既存コミュニティバス路線の再編計画の策定



②デマンド型交通の導入調査

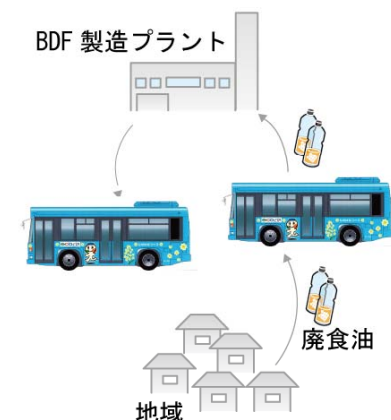
- ・予約配車システムの構築
- ・実証実験運行の実施



廃食油循環モデルの構築

③市民・事業者と連携した廃食油回収システムの検討

④BDFによるバス運行の検討



平成20年度実施スケジュール

- ①10月～2月末 ②10月～1月末 ③11月～1月末 ④11月～1月末

問い合わせ先: 恵庭市生活環境部市民交通課 電話0123(33)3131